

フレキシブル型

ジャンボモバイルマイクロホン

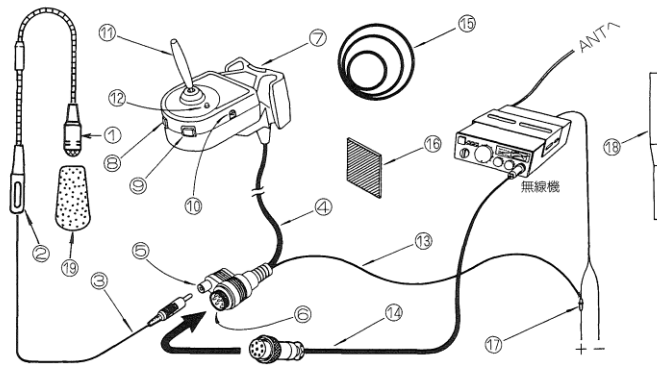
取扱説明書

このたびは、エス・イー・シーのモバイルマイクロホンJX-5Gをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このJX-5Gは、マイク出力調整機能を備えた、ジャンボモバイルマイクロホンです。

ご使用に際しましては、本機の性能を十分に発揮させていただき、この説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は保証書と共用になりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

●各部の説明(1図)



- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| ①フレキシブルマイク | ⑨DOWNスイッチ(灰色) | — 付属品 — |
| ②止め金具 | ⑩出力調整ボリューム | |
| ③ピンプラグ付マイクコード | ⑪PTTスイッチ | ⑮固定用ゴムバンド |
| ④入出力コード | (送受信切換スイッチ) | (φ40、φ60、φ75) |
| ⑤マイク入力ピンジャック | ⑫送信表示ランプ(LED) | ⑯ゴム板 |
| ⑥8P中継ジャック | ⑬電源供給線 | ⑰電源供給用コネクター |
| ⑦スイッチボックス | ⑭マイク変換コード(弊社別売) | ⑱出力調整用ドライバー |
| ⑧UPスイッチ(青色) | | ⑲風防 |

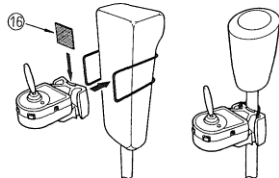
●取付方法および接続方法

- フレキシブルマイク①の止め金具②をサンバイザーと共締めするか、適当な場所へ工夫して取付けてください。(“5図”参照)
- スイッチボックス⑦は、付属の固定用ゴムバンド⑮でチェンジレバーに取付けてください。不安定な場合は、付属のゴム板⑯を挟み固定してください。(2図参照)
- スイッチボックス⑦から出ている入出力コード④のマイク入力ピンジャック⑤に、ピンプラグ付マイクコード③を差し込んでください。
- ご使用の無線機に適合したマイク変換コード(弊社別売)⑭を、入出力コード④の8P中継ジャック⑥と無線機の間に接続してください。(マイク変換コードには方向性がありますのでご確認の上、間違わないように接続してください。)
- 電源供給線⑬は、付属の電源供給用コネクター⑰で無線機の電源の⊕側に接続してください。(3図参照)

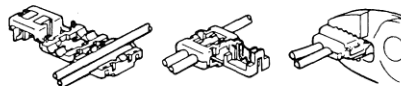
※無線機のマイクロホン端子に、電源(DC5V~9V・50mA)を供給している無線機にご使用の場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”(弊社別売)で接続すると、電源供給線⑬の配線が不要になります。(詳しくは、弊社製マイク変換コードおよびご使用の無線機の取扱説明書をお読みください。)

●スイッチボックス⑦の取付方法(2図)

●電源供給用コネクター⑰の接続方法(3図)

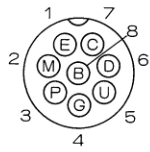


- 付属のゴムバンド⑮でチェンジレバーとスイッチボックスとを、しっかりとめてください。
- 取付けが不安定な場合、付属のゴム板⑯を間に入れてください。



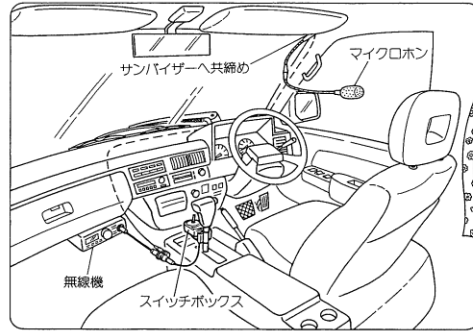
1. 無線機の電源供給線の⊕側とマイクの電源供給線⑬をコネクターの溝に沿わせて置きます。
2. そのままの状態でご電線を仮固定する。
3. プライヤーでロックするまで完全に押える。

● 8ピンアドニス配列(4図) (8P中継ジャック⑥)



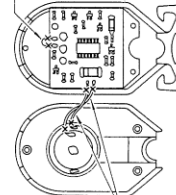
- ①E:アース(マイク信号用)…シールド
- ②M:マイク信号……………黄
- ③P:PTT(プレストーク)…赤
- ④G:アース(PTT用)…………紫もしくは青
- ⑤U:UP(アップ)……………緑
- ⑥D:DOWN(ダウン)…………白
- ⑦C:U/Dコモン……………橙
- ⑧B:DC給電(+極)……………灰

● 取付例(5図)



(6図)

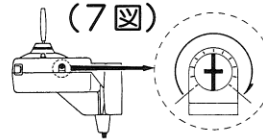
- ◎本体裏面のネジを3本外し、中の基板を下記のように変更してください。
- 無変調防止回路解除の場合はジャンパーリードを切断してください。



- アラーム回路解除の場合は黄色のリード線を切断してください。

● ご使用方法

- PTTスイッチ①をT側に倒すと送信状態になり、送信表示ランプ②が点灯し送信状態に切り変わったことを知らせます。
また、R側に倒すと受信状態になり、送信表示ランプ②は消灯します。
- UPスイッチ③およびDOWNスイッチ④は、無線機付属のマイクロホンのUP/DOWNスイッチと同じ動作をします。(詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。)
- マイク部の先端から口元までの距離が10cm以内になるようにしてご使用ください。
- 出力レベルは適正なレベルに調整されていますが、ご使用の無線機により多少異なりますので、変調が深すぎたりする場合には下記の変調調整してください。



- 出力調整ボリューム⑩を右(時計回り)に回すと出力は増加し、左(反時計回り)に回すと減少します。ローカル局にモニターしてもらいながら、8図に表示してある回転範囲を付属の出力調整用ドライバー⑪で静かに回して調整してください。(左右に約100度しか回りません。)回し過ぎると、破損する恐れがありますので十分注意してください。なお、7図の位置でほぼ中央になります。

● 無変調防止回路解除について

PTTスイッチ①が不用意に作動した場合や通常の交信においても、送信状態が約2分30秒間続けばアラーム回路が作動し警報音が約30秒間鳴った後自動的に受信状態になります。ただし、アラームは鳴り続け送信表示ランプ②は点灯したままです。無変調防止回路解除の方法は6図を参照してください。

● 回り込み対策について

ハイパワーで送信した場合変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音(マイクに直接入るエンジン音ではありません。)が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルとの整合が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従って、マイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと送信機とのSWRをチェックしてみてください。

【ご注意とお願い】

- 故障の原因となりますので、マイク部には強い衝撃を与えないでください。
- このマイクロホンの電源電圧はDC12~15Vです。直接24Vのバッテリーで御使用になると故障の原因となりますのでDC-DCコンバーター(DC24V→DC12V)等をご使用になるか、無線機と同じ電源をご使用ください。
- 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外のマイク変換コードのご使用によるトラブル、故障等については一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 本体内部は調音されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善の為、予告なく仕様およびデザイン等を変更する場合があります。

【アフターサービスについて】

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、又は弊社に保証書を添えてお申しつけくださいますようお願い申し上げます。